

社団法人  
熊本県臨床検査技師会

発行日 平成 23 年 10 月 1 日

2011年10月  
第 353 号

# ニュース版

発行責任者 瀧口 巖  
編集責任者 山本 典夫



\*\*\*\*\*

## 目次

表紙・・	(1)	学術部講演会案内	(14)
事務局から	(2)	研究班対抗ボウリング及び懇親会案内	(15)
日臨技精度保証施設認証制度	(3)	血液検査研究班勉強会案内	(16)
第2回理事会	(9)	輸血検査研究班勉強会案内	(17)
第6回常務理事会	(10)	10月の勉強会	(18)
九州学会第11回実行委員会	(11)	11月～1月研修会予定	(19)
九州学会第12回実行委員会	(12)	10月の月間行事予定	(20)
「くまもと医学検査」論文募集	(13)		

平成 23 年 9 月 1 日

都道府県臨床(衛生)検査技師会長 各位  
都道府県標準化委員会(認証委員会)委員長 各位

社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
会長 高田 鉄也



### 平成 23 年度「日臨技精度保証施設認証制度」への協力について（依頼）

謹啓 平素は、当会事業活動にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

さて、当会の精度管理調査は、昭和 40 年に開始してから今年度で 47 回を数えます。今年度は 3,500 施設以上の参加があり、文字通りわが国で最大の精度管理調査となっております。

これまでに臨床検査データ共有化ガイドライン、臨床検査データ共有化マニュアルを定め臨床検査の標準化を推進してまいりました。平成 16 年度からは日本臨床検査標準協議会（JCCLS）に標準化基本検討委員会が設置され、当会と連携し標準化の進展方法について検討が加えられました。この実践事業は、平成 19 年度から当会が引き継ぎ全国に基幹施設ネットワークを構築し、基幹施設は周辺施設と密に情報交換するパッチワーク方式により、全国的な標準化を実現するための事業を展開しております。

また、過去 4 年間のデータ標準化の活動により、全国の施設間臨床検査データの互換性が高まってきたことにより、昨年度から、検査データの信頼性が十分に保証されていると評価できた全国 364 施設を「精度保証認証施設」として認証いたしました。

各施設における標準化が進み、臨床検査の品質が向上することは、わが国の医療の質の向上に繋がります。標準物質や管理試料は高価であり、長期的に高品質な精度を維持することは経済的にも厳しいことですが、今後は、この事業が認められ精度保障に関する業務が診療報酬に反映され、かかる費用が担保されるようにならなければなりません。本制度はその足掛かりとなるものです。

つきましては、平成 23 年度の本事業日程をお知らせしますので、各都道府県技師会のご協力をお願い申し上げます。

謹白

## I. 申請要領

都道府県申請受付期間・・・12月1日（木）～12月14日（水）必着  
都道府県審査期間・・・12月15日（木）～1月8日（日）  
日臨技申請受付期間・・・1月10日（火）～1月20日（金）必着  
日臨技審査日程・・・1月21日（土）～2月5日（日）

理事会審議、承認・・・平成24年3月中  
承認通知、認証料請求書発送・・・3月中  
認証書発送・・・4月上旬～中旬

## II. 認証の基準と認証書の発行

都道府県技師会精度保証施設認証委員会は、日臨技「精度保証施設認証制度指針」に従い審査し、都道府県理事会の承認を受け、認証基準の要求事項をすべて満たす施設を日臨技認証委員会（精度保障事業部）に申請する。

日臨技認証委員会は審査後、理事会の承認を経て認証書を発行する。

## III. 申請方法

1. 申請書とチェックリストに必要事項を記入の上、申請資料とともに日臨技へ送付してください。
2. 申請書受付：上記日臨技申請受付期間
3. 申請書類送付先： 〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7  
社団法人 日本臨床衛生検査技師会 精度保障事業部宛

## 精度保証施設認証制度指針

### 1. はじめに（目的）

生体内 60 兆個の細胞一つ一つに必要な栄養素を供給する役割を担う血液の構成成分や、運搬している代謝産物を明らかにし定量化することは、疾患の診断並びに治療効果の判定に欠かせないツールとして 100 年にわたり世界中で使われ、測定対象項目も多様化し、細分化し進歩してきた。分析方法も的手法から自動分析法へと日毎に迅速化・大量処理化し、各医療メーカーの競合開発の成果で、装置・試薬共に進歩し、現在では「診察前検査」という言葉が日常的に使われるまで浸透している。このように市中の一般病院レベルまで血液検査が実施されるようになると、次第に各施設における検査データに差異が認められることが明らかになってきた。原因の一つは、試薬並びに測定装置を供給している医療メーカーが各々独自に開発を進めたことに由来するが、もう一方はこれらを扱いデータ作成を行う検査者によるところが大きい。トレーサビリティと測定方法の標準化については、IFCC や WHO などの国際的な活動もあり多くの項目で実現している。しかし装置を整備し、日々刻々と変化する試薬の状態を監視し、適正に校正を行う「精度管理」は測定系統が標準化されていてもこれを評価することは困難である。

検査データの質の向上は、全国規模の外部精度管理調査と 1980 年後半からは日本臨床化学会を中心に行われた基準的測定法の確立などにより取り組まれてきた。2004 (平成 16) 年、日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) は「臨床検査標準化基本検討委員会」を立ち上げ、わが国における臨床検査の標準化を体系的に整備する活動を開始した。活動の骨子は、(1) 標準物質・標準測定法の整備 (柱 1)、(2) 臨床検査測定値の施設間較差是正 (柱 2)、(3) 臨床検査データベースの整備・確立 (柱 3) の 3 本の柱から成る。

この活動の柱 2 は、JCCLS より (社) 日本臨床衛生検査技師会 (以下 当会) に引き継がれ、「日本臨床衛生検査技師会臨床検査データ標準化事業」として、2007 (平成 19) 年度から組織的に推進された。2009 (平成 21) 年度には、全国 47 都道府県に基幹施設 (検査室) ネットワークが完成し、年間を通じて 30 項目以上の臨床検査項目について測定値の標準化を日常的に行うことに成功した。これにより、標準化作業が全国的に浸透し、施設間検査データの互換性は高まってきた。

また、当会では、1965 (昭和 45) 年より外部精度管理調査を開始し、現在では、参加施設が 3,500 施設を超え、わが国において最大規模の外部精度管理調査となっている。

本指針では、当会主催の事業に参加し、標準化され、かつ精度が十分保証されていると評価できる施設に対して、精度保証施設として認証する制度を提言する。

### 2. 認証範囲

認証範囲は、当会が主催している臨床検査データ標準化事業で実施している項目 (TG, HDL-C, LDL-C, TC, GLU, CRE, UN, UA, AST, ALT, GGT, CK, ALP, LD, AMY, ChE, Na, K, Cl, Ca, ALB, TP, TBIL, IP, Fe, CRP, HbA1c および CBC) を対象とする。

なお、参考項目である DBIL, IgG, IgA, IgM は対象外。

### 3. 認証基準の要求事項

精度保証施設としての認証基準は、以下に記載する要求事項の 1) 当会主催の外部精度管理調査成績、2) 臨床検査データ標準化の実践、3) 人的資源、について、全ての要件を満たすものとする。

#### 1) 当会主催の外部精度管理調査

##### ①参加年数

原則として申請時から遡って2年以上連続して参加していること。

##### ②参加項目

臨床検査データ標準化事業で実施している項目に参加していること。

##### ③外部精度管理調査結果の評価

許容正解項目／参加項目の比率が90%以上であること。

#### 2) 当会主催の臨床検査データ標準化作業

##### ①都道府県で実施している外部精度管理調査結果の評価

当会主催の臨床検査データ標準化作業の一環事業として、パッチワーク方式で実施している都道府県主催の外部精度管理調査、または、それに準ずる外部精度管理調査に毎年参加し、許容正解項目／参加項目の比率が80%以上であること。

なお、上記調査は、原則、ヒト実試料に近い試料（ボランティアの全血、血清、プール血清など）を少なくとも一つ以上用いていること。

##### ②標準化の実践

臨床検査データ標準化事業で、基準的測定法が確立している検査項目について、原則として施設内で標準化を行い、実践していること。

##### ③内部精度管理記録

臨床検査データ標準化事業で実施している項目については、内部精度管理を行い、その記録があること。また、内部精度管理図(Xbar-R管理図等)が作成され十分に活用されていること。

##### ④精度管理不適合改善記録

外部精度管理調査（日臨技主催、都道府県主催）において、許容正解を外れた項目については、原因の究明、是正処置、監督者の確認等の対策がなされ、その記録があること。内部精度管理においては、明らかに許容範囲を超えた異常値が出た場合の対応マニュアル（仮称；内部精度管理手順書あるいは内部精度管理不適合データ対応マニュアル等）が作成されていること。

#### 3) 人的資源

##### ①臨床検査技師

検体検査室（例：生化学検査室、血液検査室等）に、臨床検査技師が常勤していること。

##### ②継続的な教育

申請者または精度管理責任者が、日臨技生涯教育研修制度を修了（基礎60点、専門140点の合計200点以上が必要）していること。

継続的に臨床検査の精度管理に関連する研修（研修会、報告会等）に年に1回以上参加していること。

#### 4. 認証の手順

認証の手続きを図に示す。

申請する施設は、所属する各都道府県の認証委員会に申請書と申請資料（表参照）を揃えて提出する。

都道府県の認証委員会は、【3. 認証基準の要求事項 1), 2), 3)】を審査し、要求事項を満たす施設を当会の認証委員会（精度保障事業部）に申請する。

#### 5. 認証委員会

##### 1) 当会の認証委員会（精度保障事業部）

①委員は当会の精度保障事業部に所属する理事、検査値標準化部会委員とする。その他、委員長が必要と認めた者を委員とすることができる。

②委員長は委員の互選により決定。

③会議は、申請期限が締め切られた後に開催。

④当会の職能的立場から独立し、公正な運営をするために有識者を置き、必要な時に意見交換を行うことができる。

##### 2) 都道府県認証委員会（仮称）

①委員は都道府県標準化委員会委員及び基幹施設の検査値標準化担当者、その他、都道府県理事会で必要と認めた者を委員として構成する。

②委員長は委員の互選により決定。

③会議は、申請期限が締め切られた後に開催。

④年に1回以上、各都道府県において認証に関する報告と当会主催の事業に関する研修を行う。

#### 6. 運用（実施）

##### 1) 実施時期

施行は2010（平成22）年4月1日から開始する。

##### 2) 認証書の発行

認証された施設には、当会より認証書が送付される。

##### 3) 有効期間

①認証書の有効期間は2年間とする。

②ただし、有効期間中において、当会主催および都道府県主催の外部精度管理調査に参加しなかった場合は、認証を取り消すこととする。

③その他、要求事項を満たさない不適合、不備が判明した場合は、認証を取り消すこととする。

##### 4) 更新

①更新は原則2年毎とする。

②更新時には、3. の認証基準の要求事項を再評価する。

##### 5) 認証申請に伴う諸費用

①認証申請に伴う費用は、50,000円（税込）とする。

## 7. まとめ（今後の活動方針）

血液検査はハード面（分析装置・試薬）の進歩により検出感度が向上し、微量ホルモンまでも測定出来る時代となり、もはや罹患者のためだけでなく、予防医学的観点から「健診」という名目で全国各都道府県において健常者をも対象に実施されている。このような状況下において、ソフト面（検査者の行う精度管理）を整備していくことは、国民全体の保健衛生に貢献するためにも必要なことである。本制度の実施により、各施設における標準化が進み、臨床検査の品質が向上することは、わが国の医療の質の向上に繋がる。

一方、標準物質や管理試料は高価なものであり、これらを用いて長期的に高品質な精度を維持することは経済的にも厳しい。今後は当会主催の事業が国家的事業として認められ、精度保障に関する業務が診療報酬にまで反映され、かかる収支が円滑に進められるようにならなければならない。これらの事業が恒常的に続けられることが国家の唯一無比の財産である国民に還元されることになる。

## 平成23年度 第2回理事会

日時：平成23年9月10日(土) 15:00～17:00

場所：熊臨技事務所(熊本市大窪1-6-3)

1、開会；瀧口会長が議長として開会宣言

2、出席者確認(資格審査)；総務より出席者(委任状含む)の確認・報告

理事会定員31名(理事29名・監事2名)：定足数1/2(16名)以上

瀧口、上原、原田、松本珠、山本、坂本、(池田)、田中、徳永英、増永、中潟、寺本、石橋、山平、

(渡辺)、作元、鬼塚東、室原、鬼塚寛、(松本恵)、坂口、矢野、(西山)、(徳永好)、(佐藤)、安原、伊藤、民本、川端、(上田)、林( )=委任状もしくは欠席

3、会長(議長)挨拶

4、議事

<報告事項>

(1) 会長報告；日臨技退会について(取扱い；22年度未納8月17日で退会、今年度会員は退会届が提出されるまで請求する) 全国研修会(臨地実習指導者研修会12/3,4 ホームページに記載締め切り11/1) 9/11地区会長・都道府県会長会議(12/1から角地区が支部化)

(2) 各部報告

①総務(松本)；会員登録について②広報(山本)；ニュース版原稿集めが遅れ気味、平成22年度会員名簿作成中、③組織(坂本)；11/5 学術部講演会後の懇親会・ボーリング大会、④事業(池田)；、⑤渉法(田中)；賛助会員45社 ⑥学術(徳永英) 第4回学術講演会実施予定11/5、⑦生涯教育(増永)；研修会登録方法の変更がある予定⑧経理(中潟)；予算105%、九州学会予算案⑨特別事業(寺本)；新法人定款案件進行中。

(3) 平成23年あじさい(新人教育)セミナー開催結果について

①日時；平成23年6月25日(土)14:00～18:30、場所；同仁堂ホール

②内容；接遇、認定制度、技師会活動、エンジョイスポーツ(ボーリング)、懇親会

(4) 平成23年度表彰推薦委員会(9月10日14:00～)開催結果・知事表彰受賞候補者推薦→理事会承認

(5) 第46回九州学会(熊本県 H23.10.1/2 熊本保健科学大学)一般演題募集；演題申込130

・文化講演2題、学会特別企画、展示、行事関連

(6) 第47回九州学会(宮崎市)開催計画案；平成24年11月17日(土)～18日(日)、宮崎観光ホテル

(7) 九臨技会議開催；平成23年9月30日(金)、熊本市、出席；梅橋、瀧口、上原、原田、中潟

(8) その他；

①熊本市シティFM水曜14:00～15分間。6月22日(県総保 中島浩二技師)、29日(日赤健管 杉谷由幾技師)、7/20(天草地域 磯崎将博技師)

②第8回荒尾市健康福祉まつり開催結果；平成23年6月4日(土)・5日(日) 荒尾市総合文化センター 延べ20名出動

<協議事項>

(1) 平成23年度第2回総会(23年度予算総会)、知事表彰受賞祝賀会について

①第2回総会(24年度事業計画・予算案等)、日程案；24年3月17日(土)、会場案；同仁堂ホール

\*定款変更を議題として提出の予定(会としての成立は4分の3以上が必要)

②受賞祝賀会(厚生労働大臣表彰および知事表彰受賞者)

(2) 第44回県医学検査学会・平成24年度第1回総会開催計画(案) \*役員改選

①日時；平成23年6月23日(日)担当；熊本市(場所；熊本保健科学大学)

②学会長；瀧口巖(日赤健管)、実行委員長；寺本弘二(熊本保健科学大学)

(3) 第45回熊本県医学検査学会・平成25年度第1回総会開催計画(案)

①日時案；平成25年6月未定、担当；城南地区(場所；未定) ②学会長、実行委員長未定

(4) 平成23年度熊本市健康フェスティバル開催計画(案)について

・日時；10月15日(土)16日(日)ともに8:00～17:00、場所；鶴屋7階、10階、ビブレス広場。

・出動人員(確実)；受付・案内3～4名、心電図・超音波13～15名、尿・血管年齢、骨密度14～16名

(5) 平成23年度第2回以降の理事会開催予定について

①第3回予定；平成23年11月～12月(土)城南地区(第45回県学会開催地案)

②第4回予定；平成24年3月3日(土) 15:00～ 場所；熊臨技事務所(24年度事業計画案)

③平成24年度第1回予定；平成24年6月未定 15:00～ 場所；熊臨技事務所(23年度事業報告決算案)

(6) その他

①第46回九州学会実務委員募集について；9/30,10/1,2(受付、進行、案内、アナウンス、照明など152名)

②第5回熊本県連携学会予定；平成24年3月20日(火；祝日)震災における各種の医療活動

5、その他\*日臨技支部化について\*定款(日臨技と各県の関係)\*未入会会員の勉強会参加のよびかけ

6、閉会

以上

平成23年度 第6回常務理事会

日時：平成23年9月6日(火) 21:00~22:00  
場所：熊本保健科学大学(熊本市和泉町325)  
出席者：瀧口、上原、原田、松本、山本、田中、坂本、池田、増永、中潟、寺本、  
欠席：徳永

<報告事項>

- 1、会長報告；日臨技関連(9月11日会議、11月12日臨時総会)
- 2、各部報告
  - ・総務(松本)；日臨技及び他団体等との連絡事項、会員動向等
  - ・広報(山本)；ニュース版の発行・発送、翌月ニュース版発行準備、平成22年会員名簿の発行等
  - ・組織(坂本)；レクレーション開催計画、地区懇談会(11/6 地区懇談会)
  - ・渉法(田中)；平成23年度賛助会員の募集、医専連活動への参画等
  - ・事業(池田)；平成23年度熊本県精度管理調査準備、
  - ・学術(徳永)；学術委員会班長会議、県学会への支援等 学術講演会(10/2 熊本大学)
  - ・生涯教育(増永)；生涯教育研修会等の開催案内・評価・開催状況の日臨技への報告等
  - ・経理(中潟)；平成23年度会計状況
  - ・特別事業(寺本)；新公益法人化への対応について
- 3、表彰推薦委員会開催予定について；9/10 熊臨技事務所で開催予定、知事表彰候補推薦者、永年職務精励者
- 4、第46回九州学会(熊本県担当)平成23年10月1日~2日、熊本市 熊本保健科学大学
- 5、第47回九州学会(宮崎県担当)11月17日(土)~18日(日)、宮崎観光ホテル
- 6、その他
  - (1) 熊本シティ FM 放送予定水曜14:00~15分、平成23年度(6/22,6/29,7/20)
    - \*出演：6/22(県総合保健センター；中島技師) 6/29(日赤健管；杉谷技師) 7/20(天草医療；磯崎技師)
  - (2) 第8回荒尾市健康福祉まつり開催結果；H23.6/4(土) 6/5(日)、荒尾市総合文化センター

<協議事項>

- 1、平成23年度第2回総会(23年度予算総会；定款変更案提出予定)、知事表彰受賞祝賀会について
  - (1) 日程案；24年3月17日(土)、会場案；同仁堂ホール
  - (2) 講演会は実施しない予定(定款変更審議時間確保のため)、受賞祝賀会(知事表彰受賞者、日程未定・会場未定)
- 2、第44回県医学検査学会・平成23年度第1回総会開催計画(案)
  - (1) 日時；平成23年6月24日(日)、担当；熊本市(場所；熊本保健科学大学)
  - (2) 学会長；瀧口巖(日赤健管)、実行委員長；寺本弘二(熊本保健科学大学)
- 3、第45回県医学検査学会・平成25年度第1回総会開催計画(案)
  - (1) 日時；平成25年6月未定、担当；城南地区(場所；未定) (2) 学会長；未定 実行委員長；未定
- 4、平成23年度健康フェスティバルの開催計画(案)について
  - (1) 日時・場所；平成23年10月15日(土)・16日(日)ともに8:00~17:00、鶴屋9F、10F
  - (2) 内容案；尿一般体験、細胞・細菌染色顕微鏡検査、血管年齢、骨密度、心電図・超音波
  - (3) 出勤人員(各日)；尿6名、心電図10名、細菌・細胞各6名、超音波12名、骨塩量・血管年齢6名、受付・案内6名
- 5、平成23年度第2回以降の理事会開催予定について
  - (1) 第2回予定；平成23年9月10日(土)14:30~ 場所；熊臨技事務所(8/10 総務松本確認)
  - (2) 第3回予定；平成23年11月~12月(11月26日?)；場所 城南地区 第45回県学会お願い
  - (3) 第4回予定；平成24年3月3日(土)15:00~ 場所；熊臨技事務所
  - (4) 第5回予定；平成24年6月未定(土)15:00~ 場所；熊臨技事務所
- 6、その他
  - (1) 第46回九州学会実務委員募集について；8月末で終了 延べ152名
  - (2) 第5回熊本県連携学会開催予定；平成24年3月20日(火・祝日)震災についてがテーマになりそう

以上

次回；10月18日(火)

第46回九州医学検査学会 実行委員会<第11回>記録

日時：平成23年9月6日（火）18：30～20：30

場所：熊本保健科学大学（熊本市和泉町325）

出席者： 瀧口、上原、原田、増永、（徳永英）、室原、島本、外園、（福吉）、染谷、今田、山崎、  
（大隈）、岩山、寺本、鬼塚、松嶋、谷川、池田、山本、坂本、坂口、田中、（西山）、  
山口、黒川、（田上）、中潟、徳永好、園田、松本珠、作元、（藤崎）、松本恵、  
欠席：（ ）で表示

1. 報告・検討事項

- ・総務 → 実務スタッフ依頼はまだ。マニュアルは細かいところを各部とつめる。講師の交通費の支払い方法、金額を確認しておく。学会本部の電話番号 090-1779-1969  
照明の学生を増やす（1会場2名）
- ・学術 → 9月6日6演題受付。シンポジウムは各研究班長でとりまとめ。パソコン2台は早めに用意されている。
- ・施設 → ツカサ創研との最終打ち合わせ9月8日までに実施。シンポジウムで必要な機材があれば、早く連絡（生理は打ち合わせずみ）。
- ・展示 → エリア確認。展示の追加を希望する施設あり。前日設営アンケート出そろ。アリーナは9月29日から設営入る。
- ・渉外 → コングレスバック、ネームホルダー確保（1300）。ゴルフコンペ 担当坂口
- ・広報 → 撮影機材1週間前に予約。USB150個（記念品用）発注。ユニフォームサイズ確認。z数を確定する必要がある。クリアファイル持参の方の記念品（肥後六花ハンカチ）用意。観光案内1350用意。30日に入れ込み作業
- ・経理 → 引き続き、領収書準備。お弁当ランチョン720+α。講師謝礼。実行委員の受付は別途に行う。前日準備のときに受け付ける。前日これない人は当日、朝早く実施する。（本部で）  
学会スタッフの参加証は本部で登録する。（参加証も本部においておく）
- ・ポロシャツ → 発表などの場合、アリーナでの更衣室使用可能
- ・協力業者さんには、ポロシャツなし。必要があれば、熊臨技ジャンパーを貸し出す。
- ・九臨技懇親会 → ホテルキャッスル変更（城見櫓で¥10000）九臨技会議出席者はその日に徴収。9月8日までに欠席そろ。
- ・式典関係 → 来賓あいさつ3名。司会は検討中。
- ・懇親会 → 300名。山鹿灯籠20分。ゲーム30分（抽選、クイズ、じゃんけん）。残りの10分宮崎県PR。来賓あいさつ。各県会長その他の来賓席を設定。
- ・セレモニー → 業者代表。堤化学。シスメックス。
- ・駐車場 → スタッフは運動場の一面の資材置き場。フードパルの駐車場 掲示板は総合案内につくる。
- ・来賓記念品は別にしたほうがいいのでは？
- ・ユニフォームのサイズ・・・s s 15 XL 15その他S, M, Lは75ずつくらい。
- ・温故知新コーナー ほぼそろ。
- ・実務委員の役割。本部に30名詰める必要はない。どのあたりを把握するかを決める。会計を担当する人が少ないので、ある程度応援する。
- ・
- ・次回は9月20日（火）18：30～
- ・リハーサル予定 9月23日（金・祝）10：00～12：00
- ・9月30日 18：00～

実務委員案内。宿泊の希望。

九臨技会議調査。（懇親会の場所変更案内）

以上

第46回九州医学検査学会 実行委員会<第12回>記録

日時：平成23年9月20日（火）18：30～20：30

場所：熊本保健科学大学（熊本市和泉町325）

出席者： 瀧口、上原、原田、増永、（徳永英）、室原、島本、外園、福吉、染谷、今田、山崎、大隈、岩山、寺本、鬼塚、松嶋、谷川、池田、（山本）、坂本、坂口、田中、西山、山口、黒川、（田上）、中潟、徳永好、園田、松本珠、作元、藤崎、松本恵、

欠席：（ ）で表示

1. 報告・検討事項

- ・総務 → 賛助会員依頼実施。9月23日リハーサルについて、つめる。学生出動は1500円（1日、2日間わず）前日リハーサルに出動費はなし。後日、図書券で配布する。資料の袋詰め30日に実施。
- ・学術 → 9月16日現在、70演題ほど。16日到着分は入力済み。研究班長さんで確認してほしい。
- ・施設 → 展示会社1社増える。ツカサと打ち合わせ実施中。
- ・展示 → 展示会社1社にひとつずつ、ネームホルダー配布。いつ配布するか？搬入時にするか？
- ・渉外 → コンgressバック1300到着、ネームホルダー550到着。ゴルフ17名応募
- ・広報 → ユニフォーム9月21日到着予定。サイズふりわけは23日に実施。USBは22日もしくは26日到着。USBはくまもん商標シールを張る。来賓の記念品は選定中。
- ・経理 → シンポジストについての謝礼。検査技師は払わない事を再確認。検査技師以外の人は謝礼を払う。宿泊費、旅費はなし。ランチョンの場合の検査技師は？払わない→記念品のみ、旅費は出す。
- ・事務局長 → マニュアル表紙、名札の印刷できあがり紹介。担当部署備品一覧表配布。来賓名簿（文化講演 演者1名（内村先生のみ、武田氏は直接控室？日臨技2名）式典来賓は式典での受付が必要。予備パソコン3台あり。（2台は受付近く。1台は本部；来賓用）
- ・九臨技会議 → 席名札、領収書、お茶・コーヒー引換券はホテルと打ち合わせ必要。
- ・マニュアル → 決まったところのみ記載。未確定の部分は変更もありますという形で表記。
- ・宮崎県余興 → 控室を用意してほしい。山鹿灯籠踊りの控室を使用後に流用。外部の視察は学会参加費無料。懇親会費は実費。

・23日リハーサルについて

9：00 広報（ポロシャツ仕訳）

9：30 受付（増永、松嶋、松本）と同時にマニュアル配布

10：00 会長挨拶

10：10 マニュアル説明1）実務の受付について2）駐車場確認

10：50 各部署で確認 → 準備委員がつれていく

11：50 ポロシャツ配布（1300教室）

12：10 質疑応答

12：30 終了予定

※お茶、お菓子用意。

次回 9月23日リハーサル 10：00

## 『くまもと医学検査』の投稿論文募集

会員各位

熊本県臨床検査技師会  
学術部長 徳永英博

前略、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
皆様ご存じの事と思いますが、以前の『機関誌くまもと』が『くまもと医学検査』として新しくフルカラーの冊子となりました。また、別刷りも30部無料で提供致します。つきましては、『くまもと医学検査』の第2巻への投稿論文を下記の要領で募集致します。多くの方々からの投稿をお願い致します。

草々

記

### 1. 提出書類

- ① 投稿表紙（熊本県臨床検査技師会会誌「くまもと医学検査」分）
- ② 誓約書（熊本県臨床検査技師会会誌「くまもと医学検査」分）
- \* 投稿表紙及び誓約書は熊本県臨床検査技師会ホームページを参照

### 2. 論文及び書類の提出期限

平成23年12月22日（水）

### 3. 論文の提出方法

CD-Rにて送付

### 4. 提出先

〒860-8556 熊本市本荘1-1-1 熊本大学病院病理部 徳永 英博

\* 論文投稿予定の方は早めにご連絡下さいますようお願いいたします

平成 23 年 9 月 20 日

会員各位

社) 熊本県臨床検査技師会  
学術部 徳永 英博  
(担当) 外園 宗徳

## 熊本県臨床検査技師会

### 平成 23 年度 学術部講演会のお知らせ

拝啓 初秋の候、会員各位にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
学術部主催の学術講演会を下記の通り開催します。今年は、『泌尿器科の臨床検査』を  
テーマに、各研究班より、わかりやすくお話をさせていただきます。  
ご多忙の折とは存じますが、会員の皆様の多数の参加をお願いいたします。

敬具

記

日 時：平成 23 年 11 月 5 日 (土) 受付 12:30～ 開 13:00～17:30

会 場：熊本大学医学教育図書棟 4F

テーマ：『泌尿器の臨床検査』

1. 特別講演： 座長 徳永 英博 (熊本大学医学部附属病院)  
講師 江田 幸政先生 仁誠会クリニック光の森 院長  
(元熊本大学病院腎臓内科)  
演題「慢性腎臓病 (CKD) 診断と治療における臨床検査の意義と要点」
2. 一般講演： ① 病理・細胞診検査 大塚 幸二技師 (熊本赤十字病院病理部)  
『泌尿器における病理検査』  
② 一般検査 亀山 広喜技師 (熊本保健科学大学)  
『尿沈渣での異型細胞の見方』  
③ 化学・免疫・情報管理 寄田 充技師 (熊大付属病院中央検査部)  
『P S A 検査の有用性について』  
④ 微生物・公衆衛生 溝上 幸洋技師 (済生会熊本病院中央検査部)  
『泌尿器系の細菌検査』  
⑤ 画像生理検査 小山 大樹技師 (日赤熊本健康管理センター)  
『超音波検診で発見される泌尿器疾患』

※問い合わせ先：国立病院機構 熊本医療センター 臨床検査科 外園 宗徳

Tel ; 096-353-6501 Mail ; [kensa@kumamoto2.hosp.go.jp](mailto:kensa@kumamoto2.hosp.go.jp)

平成 23 年 9 月 15 日  
(社)熊本県臨床検査技師会  
会 長 瀧口 巖  
組織部 坂本 康弘

会員各位

## 「チーム（研究班）対抗ボウリングおよび懇親会」のご案内

謹啓、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、学術部による学術講演会が企画されているところですが、会員の皆様が多数参加されることと思われまます。折角の機会でありまますので講演会終了後、会員皆様の懇親を深めて頂きたく、昨年につきチーム（1 チーム 4 名）によるボウリングおよび懇親会を予定しております。つきましては、会員の皆様の多数の参加をお願い申し上げます。

謹白

### 記

開催日 : 平成 23 年 11 月 5 日 18 : 15 集合 18 : 30 ~ (学術講演会終了後)

ボウリング会場 : スポーツ熊本 (大劇ビル)

懇親会会場 : 石松茶屋 (栄通り/キャサリンズ Bar 前のビル 4F TEL 096-356-4266)

会 費 : 3000 円程度 (ボウリング・懇親会費込み)

申込締め切り : 平成 23 年 10 月 21 日 (金)

申込方法 : 下記の各研究班班長さんまで所属、氏名、連絡先 (TEL)

ボウリング参加の有無、懇親会参加の有無をご連絡ください。(懇親会のみでも可)

病理・細胞検査	; 島本浩二	熊本市市民病院	TEL096-365-1711
一般検査	; 外園宗徳	熊本医療センター	TEL096-353-6501
輸血検査	; 福吉葉子	熊大医学部附属病院	TEL096-373-5817
血液検査	; 染谷賢俊	熊本医療センター	TEL096-353-6501 (内 317)
化学・免疫・情報処理	; 今田龍市	N T T 西日本九州病院	TEL096-364-6000
神経生理検査	; 山崎 卓	熊本赤十字病院	TEL096-384-2111 (内 7120)
画像生理検査	; 岩山義男	熊本中央病院	TEL096-370-3111
微生物・公衆衛生	; 大隈雅紀	熊大医学部附属病院	TEL096-373-5696

\* 班長さんにはお忙しい中、お手数をお掛けいたしますが、取りまとめの上、担当の坂本までご連絡よろしくようお願い申し上げます。

担当 : (社) 熊本県臨床検査技師会 組織部

熊本赤十字病院病理部 坂本 康弘 TEL096-384-2111 FAX 096-384-8891

E-mail; byori@kumamoto-med.jrc.or.jp

会員各位

## 血液検査研究班勉強会のお知らせ

謹啓 会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
さて、血液検査研究班 10 月の定例勉強会は、造血幹細胞について講演会を企画いたしました。  
近年、ES 細胞や iPS 細胞など発生に関する幹細胞の話題で賑わっておりますが、  
今回、熊本医療センターの鶴田先生に造血幹細胞をめぐる最近の話題について  
ご講演をお願いしております。

日 時 ; 10 月 25 日 (火) 18 時 30 分より

場 所 ; 熊本医療センター 研修センター

演 題 ; 「血液細胞発生のなぞ」

――造血幹細胞をめぐる最近の話題――

『骨髄移植に始まった造血幹細胞を用いた治療の歴史は半世紀を超えましたが、近年、胎生幹細胞 (ES 細胞) や人工多能性幹細胞 (iPS 細胞) を用いた研究により、造血幹細胞に関する研究は新たな局面を迎えています。

ここではそれらの新しい技術を用いて解明された造血幹細胞の発生・文化とその制御についての最近の知見を出来るだけ解り安く解説したいと思っております。』

講 師 ; 鶴田 敏久先生

国立病院機構 熊本医療センター

臨床検査科 医長

問い合わせ先 ; 血液検査研究班 班長 染矢 賢俊

熊本医療センター臨床検査科

TEL ; 096-353-6501

会員各位

## 輸血検査勉強会のご案内

謹啓、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
輸血検査の自動化は他の検体検査に比べ遅れており、多くの施設が試験管法による用手法を実施している状況です。普段輸血検査に携わらない多くの技師にとって、用手法による輸血検査は判定結果に個人差がでるためストレスも大きく、精度管理の側面からも輸血検査の自動化は望まれております。今回現在全自動の輸血検査装置を発売している3社をお迎えし、各社の試薬および検査機器の特徴について解説していただく機会を設けました。輸血検査の自動化についてご興味がある方は、是非ご参加下さい。

謹白

### 記

日時：平成23年11月20日(日曜日) 10:00～13:00(受付 9:30～)

場所：熊本大学医学部附属病院 東病棟12階

※ 病院駐車場は正面玄関右手のゲートから入った先の、立体駐車場をご利用下さい。

内容：安全な輸血検査体制を目指して～輸血検査自動化の進歩～

講演1：「オートビューのシステム運用」

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

講演2：「ゲルカラム法とBio-Rad自動輸血検査装置」

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

講演3：「全自動輸血検査装置ECHOを用いた輸血検査」

株式会社イムコア

質問・意見交換

申込方法： 当日参加

問い合わせ先:熊本大学医学部附属病院  
中央検査部 福吉 葉子  
TEL 096-373-5817

## 熊臨技「生涯教育研究過程プログラム」

### 11～1月研修会予定表

11月22日	熊本市	血液検査研究班研修会（長大濱崎さん講演会）	検体検査	専門	20
11月24日	熊本市	病理・細胞検査研究班研修会（肺癌と肺発生の接点 シグナル発現と意義）	検体検査	専門	20
未定	熊本市	微生物講演会	検体検査	専門	20
未定	熊本市	機能・神経生理研究班（脳波）	生体検査	専門	20
未定	熊本市	一般検査研究班研修会（尿沈渣研修会）	検体検査	専門	20
未定	合志市	熊本市周辺地区研修会			
未定	天草市	天草地区研修会（情報）	検体検査	専門	20
12月					
未定	熊本市	化学・免疫・情報研究班研修会	検体検査	専門	20
未定	熊本市	画像生理研究班（超音波基礎工学）	生体検査	専門	20
未定	熊本市	輸血検査研修会（システム・電子カルテ）	検体検査	専門	20
未定	天草市	天草地区研修会（基礎）			
1月24日	熊本市	血液検査研究班研修会（染色体：FISH）	検体検査	専門	20
1月26日	熊本市	病理・細胞検査研究班研修会（第4回症例検討会）	検体検査	専門	20
未定	熊本市	微生物スライドカンファレンス	検体検査	専門	20
未定	天草市	天草地区研修会（微生物）	検体検査	専門	20

\*上記プログラムの内容やカリキュラム名・区分・点数は変更される場合がありますので  
ご了承下さい。

\*各研修会は会員の技師会費で運営されています、県技師会としては非会員の受講料を  
一律3000円といたします。